

インターネットを利用する際に、知っておきたい

その時の場面集 フィルタリング編 [パソコン]

2021 年 7 月(初版:2014 年 3 月)

一般財団法人インターネット協会

IA *japan*

その時の場面集について

インターネット協会は相談業務やセミナー活動を通じて、様々な利用者の声を聞いています。インターネットの使い方や注意方法などの質問を受けてアドバイスをしていますが、最近は「フィルタリング」の具体的な使い方を教えてほしい、という要望が増えてまいりました。

パソコンや携帯電話、スマートフォンに加えて、タブレット端末、携帯ゲーム機、携帯音楽プレイヤーなど、さまざまなインターネット利用端末機器からフィルタリングをかけることができるようになり、サービスもより複雑になってきています。購入したお店に聞いたり、ウェブサイトで調べたりすればある程度はわかるものの、どのようにフィルタリングをかけてよいのか、容易にはわからない状況と言えます。

青少年の子どもを持つ保護者の皆様が、フィルタリングをかける「その時」のために、主要なフィルタリングサービスの機能や設定画面を集めて本書を作成させて頂きました。本書を通して、インターネットを正しく有用に活用していく為の一步を踏み出す助けになれば幸いです。

一般財団法人インターネット協会

目次

1	・ フィルタリングの概要	 3
2	・ フィルタリングの主な機能	 6
3	・ i-フィルター	 8
4	・ ウイルスバスタークラウド	12
5	・ Microsoft ファミリー機能	16
6	・ Apple macOS スクリーンタイム	24

1

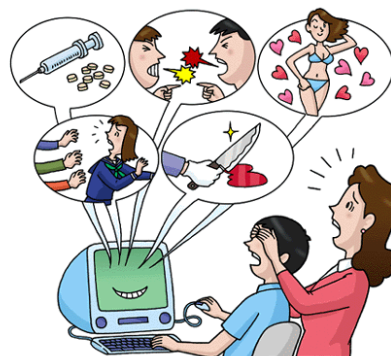
・フィルタリングの概要

インターネットは生活を豊かにしてくれますが、中には有害な情報も含まれています。

インターネットを使うと、いつでも、どこからでも、世界中の人とコミュニケーションしたり、知りたい情報をその場で探したり、色々な商品を購入したりすることができます。インターネットは私たちの生活を豊かにし、個人のライフスタイルの可能性を広げてくれるものです。

その反面、インターネットでは誰でも簡単に、自分が出したいと思う情報を発信することができます。情報の内容が他人の目でチェックされることなく、どんな情報でも発信できてしまいます。そのため、インターネット上には、ポルノ画像や暴力画像、他人に対する心ない言葉など、**子どもに見せたくない有害なウェブサイト**もあるのです。子供にとって有害と考えられるような情報があるウェブサイトは、例えば次のようなものです。

- ・アダルトサイト
- ・出会い系サイト
- ・暴力残虐画像を集めたサイト
- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・犯罪を助長するようなサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト



インターネット協会 フィルタリング情報ページ

<https://www.iajapan.org/filtering/>

子どもの成長に合わせて、上手にフィルタリングを活用しましょう。

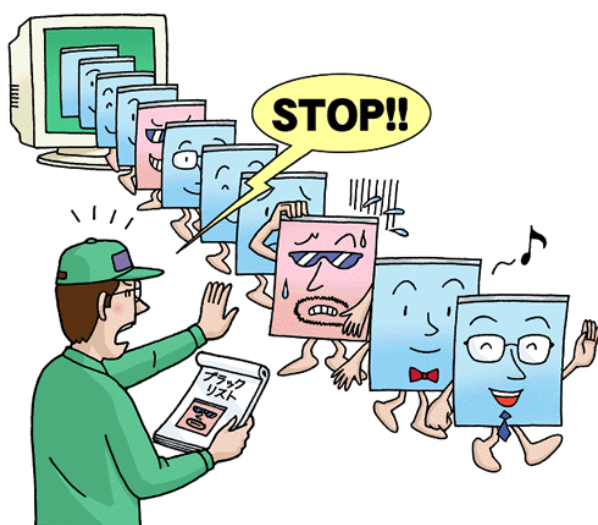
有害なホームページを子どもに見せないようにするための仕組みが「**フィルタリング**」です。フィルタリングを使うと、情報を発信する人の表現の自由を奪うことなく、情報を受け取る側で有害なホームページの閲覧を拒否することができます。子どものいる家庭では、パソコンにフィルタリングを設定することをお勧めします。

また、**子どもの成長や、習熟度に合わせて**、インターネットを利用させることが大切です。子どもが初めてインターネットを利用する際は、保護者の責任でフィルタリングを設定し、インターネットを使いこなす知識・技術、情報モラルやコミュニケーション能力をそれぞれ身につけているかを見極めましょう。そして、その成長に合わせて、持たせる機器やフィルタリングの設定などを見直して、インターネットを利用させる範囲やサービスを広げていきましょう。

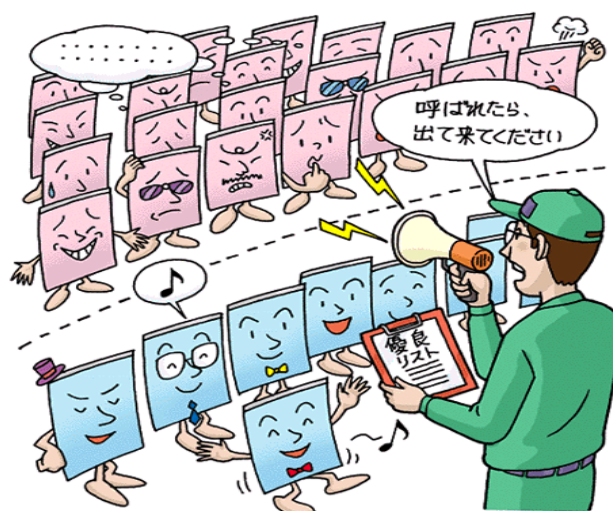
インターネット上のサイトをカテゴリに分類し、アクセスの可否を設定します。

フィルタリングには大きく分けて 2 つの方式があります。1 つは**[ブラックリスト方式]**です。有害なホームページをブラックリストとしてリスト化し、これらのホームページを見ることができないようにする方式です。もう 1 つは**[ホワイトリスト方式]**です。子どもにとって安全で有益と思われるホームページをホワイトリストとしてリスト化し、これらのホームページだけを見ることができるようにする方式です。

また、フィルタリングには**[カテゴリ]**という考え方があります。例えば**[アダルト]****[自殺・家出]****[ギャンブル]****[オカルト]**などの細かいカテゴリに分類し、特定のカテゴリのサイトを見させないという設定もできます。



【ブラックリスト方式】



【ホワイトリスト方式】

インターネット協会 フィルタリング説明ページ

(フィルタリングソフトのしくみや技術などについて、紙芝居形式で分かりやすく説明したパンフレット)。

<https://www.iajapan.org/rating/leaflet.html>

パソコンにフィルタリングソフトを入れて、簡単に利用することができます。

家庭のパソコンでフィルタリングを利用する方法には、大きく分けて 2 つの方法があります。1 つは「**パソコンにフィルタリングソフトを入れる方法**」です。家庭のパソコン向けのフィルタリングサービス提供会社から提供されていますが、P8 より主要な 3 社のサービスについて案内しますので参考にしてください。

もう 1 つは、家庭にインターネット接続用のルータがある場合は、その「**ルータ経由でフィルタリングを設定する方法**」です。この方法だと、パソコンだけでなく、ルータに Wi-Fi などの無線 LAN アクセスするスマートフォン・タブレット・ゲーム機なども、まとめてフィルタリングを利用することができます。

保護者の管理のもとフィルタリングを利用し、子どもの成長を見守りましょう。

保護者は、パソコンやインターネットの使い方を学び、子どもがインターネットで何をしているかを理解し、子どもにインターネットの利用ルールについて教えたり、一緒に考えていくことが大切です。そのための第1歩として保護者の管理のもとフィルタリングを活用することをお勧めします。



検索サイトのセーフサーチを活用すると、さらに安全性が高まります。

さらに、検索サイトの[セーフサーチ]を利用すると、検索結果から成人向けサイトを除外することができます。フィルタリングと合わせて利用することで、より安全に利用することができます。詳しくは、検索サイトのヘルプページを参照してください。



[Google のセーフサーチ]解説画面



[Yahoo! のセーフサーチ] 解説画面

Google セーフサーチ

<https://support.google.com/websearch/answer/510>

Yahoo!セーフサーチ、チャイルドロック

<https://support.yahoo-net.jp/PccSearch/s/article/H000007973>

2

・フィルタリングの主な機能

パソコンに詳しくなくても、便利な機能が簡単に利用できます。

フィルタリングサービス提供会社のサービスには、パソコンに詳しくなくても簡単に使うことができ、多くの便利な機能がついています。主な機能を下記に記載します。

機能
1. 年齢別の設定
2. 複数利用者の設定
3. 利用時間制限
4. 利用状況確認

フィルタリングサービス提供会社毎に、機能の名前や内容が異なります。また、上記の機能以外にも、各社毎に様々な機能が提供されていますので、詳しくは各社のホームページ等で確認してください。

各機能をどの様な時に使えばよいのかを以下に説明します。

1. 年齢に応じてフィルタリングの強弱を変更したい時。

年 齢別のフィルタリング設定機能を利用しましょう。この機能がフィルタリングのメインの機能となります。例えば、[小学生][中学生][高校生]などの年代や、年齢を選ぶだけで、フィルタリングサービス提供会社の推奨するカテゴリが自動で設定され、フィルタリングの強弱をコントロールすることができます。

2. 子どもにはフィルタリングをかけるが、親が使うときはフィルタリングを外したい時。

複 数利用者の設定機能を利用しましょう。1つのパソコンを複数の人で利用する場合、利用者に合わせたフィルタリングとなるように設定ができます。例えば、小学生の弟にはフィルタリング強、高校生の姉にはフィルタリング弱、親はフィルタリングなし、というような設定が可能です。

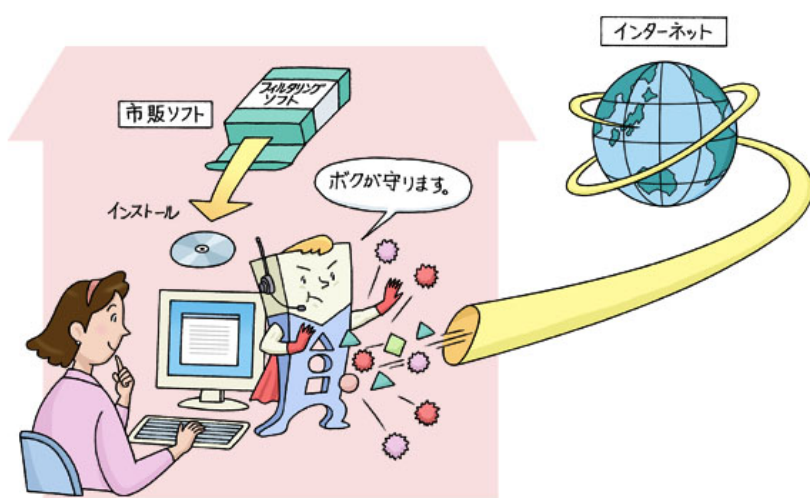
3. 子どもの利用時間を制限したい時。

利 用時間制限機能を利用しましょう。インターネットの使い過ぎや、深夜の利用を防ぐために、利用可能な時間を設定できます。設定した時間以外はインターネットを利用することができなくなります。

4. 子どもがどのようなサイトにアクセスしているか知りたい時。

利用状況確認機能を利用しましょう。子どもがいつ、どのサイトにアクセスしたのかを保護者が確認することができます。実際に細かくチェックをすることはしなくても、子どもがこの機能があることを知っていれば、ふさわしくないサイトへのアクセスを抑えることがあるかもしれません。また万が一、子どもがサイトで何らかのトラブルにあってしまった場合、後からどのサイトだったかを確認するのにも役立ちます。

次章から、実際に提供されているパソコン向けフィルタリングサービスについて説明していきますので、参考にしてください。



3

・i-フィルター

i-フィルターの主な機能

i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社が提供する、有害サイトフィルタリングソフトです。特徴として、[見せたくないサイトは、しっかりブロック][役立つサイトは、ちゃんと見せる][離れた場所からも見守れる][使いすぎの心配はありません][アプリケーションも制御][1人ひとりの設定が分けられる]が挙げられています。

多数 (i-フィルター 6.0 で 68 種類) の**フィルタリングカテゴリ**から、家庭の方針、利用者に合わせて「見せても良いカテゴリ」「見せたくないカテゴリ」を選ぶことができます。



製品パッケージ



[フィルタリング設定]画面

フィルタリングカテゴリ「i-フィルター 6.0」

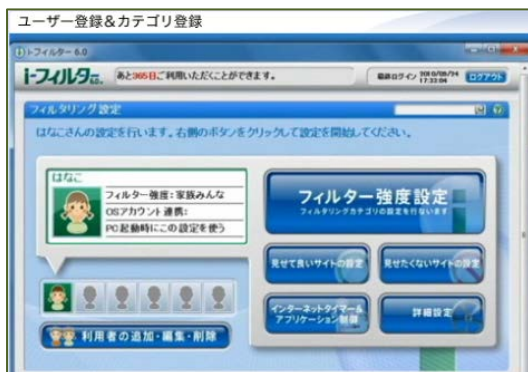
<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/category/>



【利用者の切り替え】画面

【利用者登録機能】で、最大 6 名までの利用者登録で、家族 1 人ひとりに最適なフィルタ強度の設定ができます。年齢別の推奨設定として「ファミリー」「小学生」「中学生」「高校生」「大人」「フィルターOFF」から選択することで、かんたんにフィルタ強度設定が可能です。

【離れた場所からの管理機能】は、使用パソコンからはもちろんの事、他のパソコンやモバイル端末からでも、インターネット利用状況を把握したり、フィルタリングの強度変更が可能です。1 日 1 回、利用状況をメールで受け取る事もできます。



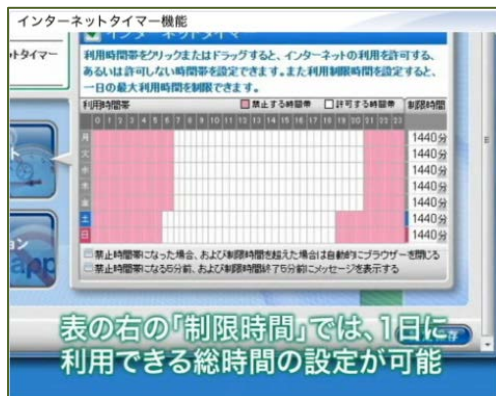
【利用者登録&カテゴリ登録】画面



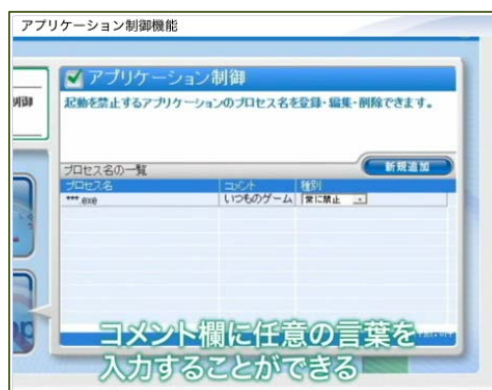
【離れた場所からの管理機能】画面

【インターネットタイマー機能】は、インターネット利用時間の制限ができます。だから使いすぎの心配はありません。

【アプリケーション制御機能】は、オンラインゲームなどのアプリケーションの制御も可能です。インターネットタイマーと連動すれば、利用できる時間も設定できます。



【インターネットタイマー機能】画面



【アプリケーション制御機能】画面

また、URL を登録することで、登録したサイトだけを表示する【ホワイトリスト機能】も利用できます。サービスの特徴や、細かい機能などは下記の製品ホームページを参照してください。

i-フィルターの概要

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/about/>

i-フィルターの機能一覧

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/func/>

動作環境

Windows 版と Mac 版の 2 種類があります。その他、対象 OS のバージョン、使用するパソコンの性能や、セキュリティソフトとの同時使用など、詳細は下記の製品ホームページを参照してください。

i-フィルターの動作環境

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/sysreq/>

i-フィルターの他社セキュリティソフトとの動作確認リスト

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/conflict/>

購入方法

i-フィルターは[月額版]と[年額版]の 2 種類があります。[月額版]は製品ホームページからダウンロード購入が可能です。[年額版]はダウンロード販売サイトからの購入、もしくは家電量販店などでパッケージ版としても購入ができます。購入・申込み方法や、購入金額などの詳細は下記のページを参照してください。また、全ての機能が 30 日間無料で試せる、**[無料版お試しダウンロード]**があります。お試し期間後は、継続利用の手続き（有料会員登録）を行うことで、フィルタリング設定はそのまま年額版として引き続き利用することができます。

i-フィルターの購入方法

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/purchase/>

i-フィルター「無料お試し版ダウンロード」

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/trial/>

利用方法

インストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限で Windows にログインしてください。また、必ずインターネットに接続した状態でインストールを行ってください。下記のページに、インストール方法や各機能の使用方法について、マニュアルや動画での説明が掲載されていますので、参照してください。



[インストール]画面

i-フィルターのインストールガイド

<https://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/install/>

i-フィルターの操作マニュアル

<https://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/manual/>

問い合わせ方法

製品についての[よくある質問]のページがありますので、購入前や購入後に不明な点がある時は参考にしましょう。また、直接問い合わせを行いたい時は、[メールフォーム][電話]にて問い合わせが可能です、詳しくは下記のページを参照してください。

i-フィルターのよくある質問

<https://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/faq/>

i-フィルターの問い合わせ

<https://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/contact/>

i-フィルター「お助け動画」

<https://www.daj.jp/cs/sp/movie/>

4

・ウイルスバスタークラウド

ウイルスバスタークラウドの主な機能

ウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社が提供する、総合セキュリティ対策ソフトです。パソコンの「ウイルス対策」機能がメインですが、「**家族を守る**」機能があり、フィルタリング機能も備えていますので、その機能を有効にすることでフィルタリングが利用可能になります。

規制したいジャンルを **27 種類のフィルタリングカテゴリ**から自分で選択することが可能で、[高][中][低]を選択することで、フィルタリングの強弱を自動で設定することも可能です。



製品パッケージ



[メイン]画面



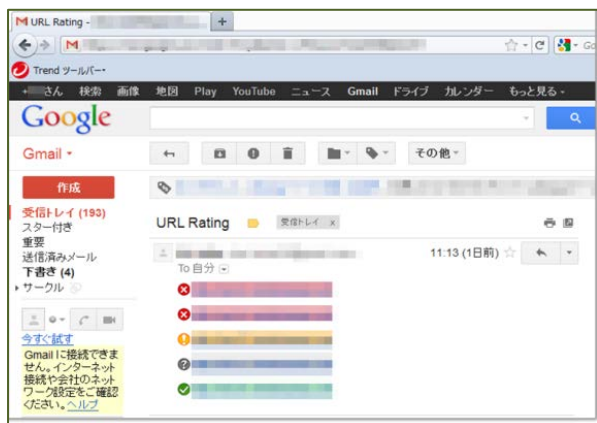
[URL フィルタの設定]画面



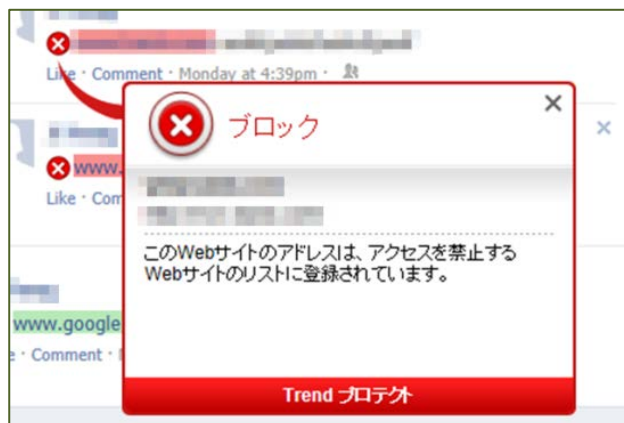
[危険な Web サイトのブロック]画面

[Web 脅威対策] として、検索サイトの結果表示や、メール・コミュニティサイト上に記

載された URL を、安全性に応じて色別（緑：安全、赤：危険、黄色：不審、灰色：評価できず）で表示し、危険な URL をクリックすることを防ぐ機能もあります。

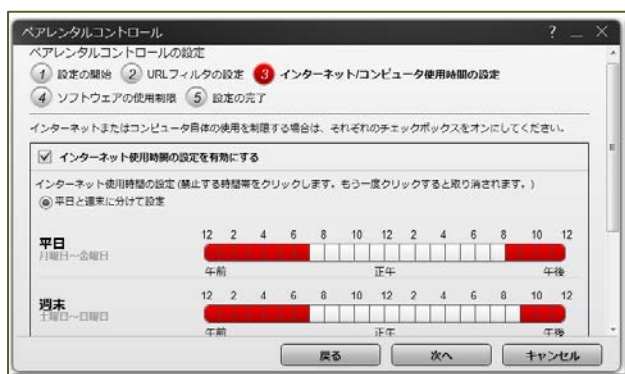


[メール上の URL 色別表示]画面



[コミュニティサイト上の URL 色別表示]画面

Windows のユーザーアカウントと連動させた、インターネットの【利用時間管理】や【ソフトウェア使用制限】の機能も搭載されています。



[利用時間管理]画面



[ソフトウェア使用制限]画面

細かい機能などは下記の製品ホームページを参照してください。

ウイルスバスタークラウドの特徴

https://www.trendmicro.com/ja_jp/forHome/products/vb.html

ウイルスバスタークラウドの機能一覧

https://www.trendmicro.com/ja_jp/forHome/products/vb/feature.html

動作環境

Windows 版と Mac 版の 2 種類があります。他のウイルス対策ソフトと同時に使用することはできません。その他、対象 OS のバージョン、使用するパソコンの性能など、詳細は下記の製品ページを参照してください。

ウイルスバスタークラウドの動作環境

https://www.trendmicro.com/ja_jp/forHome/products/vb/requirement.html

購入方法

ウイルスバスタークラウドは[ダウンロード版]と[パッケージ版]の 2 種類があり、また利用可能な期間も [1 年版] [2 年版] [3 年版] を選ぶことができます。購入・申込み方法や、購入金額などの詳細は下記のページを参照してください。また、「**30 日無料体験版**」があります。体験版を試した後は、シリアル番号の変更により、設定はそのまま製品版として利用することができます。

ウイルスバスタークラウドの購入方法

<https://virusbuster.jp/store/vb/>

ウイルスバスタークラウド「無料体験版」

https://www.trendmicro.com/ja_jp/forHome/free_trial.html

利用方法

他社製セキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合、ウイルスバスター クラウドをインストールする前にアンインストール(削除)してください。

インストール方法や、各機能の使用方法について、マニュアルや動画での説明が掲載されていますので、詳しくは下記のページを参照してください。



[インストール]画面

各 OS (Windows/Mac/Android/iOS) ごとの新規インストール方法

<https://helpcenter.trendmicro.com/ja-jp/article/TMKA-20831>

問い合わせ方法

製品についての[よくある質問]のページがありますので、購入前や購入後に不明な点がある時は参考にしましょう。また、直接問い合わせを行いたい時は、[チャット][メールフォーム][FAX][電話]にて問い合わせが可能です、詳しくは下記のページを参照してください。

ウイルスバスタークラウドのよくある質問

<https://helpcenter.trendmicro.com/ja-jp/product-support/vb/>

ウイルスバスタークラウドへの問い合わせ

<https://helpcenter.trendmicro.com/ja-jp/contact-support/>

参考：トレンドマイクロ株式会社が提供している「インターネットセキュリティナレッジ」では、ニュース、特集、コラム、学習資料、用語集等のお役立ち情報を公開しています。

インターネットセキュリティナレッジ

https://www.is702.jp/about/partner/12_t/



5

・ Microsoft ファミリー機能

Microsoft ファミリー機能の概要

ファミリー機能（注1）は、Microsoft が提供する Windows 10 組み込みのファミリー向け無料サービスです。（Windows 10 が搭載された）PC、家庭用ゲーム機 Xbox、子供が利用する（Microsoft Launcher がインストールされた Android）スマートフォンをまとめて管理することができます。

（注1）Microsoft Family Features の日本語訳。Windows 8/8.1 ではファミリーセーフティ、Windows 7/Vista ではペアレンタルコントロールと呼ばれています。最近発表されたスマートフォンのファミリー向けアプリは Microsoft Family Safety App と呼ばれ、Android 版や iOS 版が米国でリリースされています。日本からはまだ（2020/7/31 現在）ダウンロードできません。

Microsoft ファミリー機能に関するヘルプ

<https://account.microsoft.com/family/about>

Xbox Support - ファミリーとオンラインの安心設定

<https://support.xbox.com/help/family-online-safety/browse>

Microsoft ファミリーセーフティアプリの更新

<https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/microsoft-%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%9F%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%BB%E3%83%BC%E3%83%95%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E3%81%AE%E6%9B%B4%E6%96%B0-4ef833cd-ffc2-9257-6360-9425dc019e41>

Microsoft ファミリー機能の内容

Microsoft ファミリー機能では、ファミリーメンバーアカウント毎に以下を行うことができます。

- アクティビティ（活動記録）

保護者は、訪問した Web サイト、デバイスの使用時間、Windows 10 PC またはモバイル デバイスで使われるアプリの一覧を取得できます。

- Web フィルタリング

Web フィルタリングは、Microsoft Edge および Microsoft Internet Explorer でのみ利用できます（注2）。Web フィルタリングをオンにすると、アダルト Web サイトへのアクセスがブロックされ、Bing、Google、Yahoo!、その他の人気検索エンジンの検索結果からアダルトコンテンツが除外されたセーフサーチが可能になります。

- 保護者アカウントによる Web サイトのブラックリスト登録とホワイトリスト登録ができます。
- 子供が Web サイトへのアクセスをブロックされると、許可を求めるリクエストを保護者に送信できます。承認を受けると、アクセスできるようになります。
- Microsoft Edge および Microsoft Internet Explorer での InPrivate ブラウズをブロックします (注3)。

(注2) 他の一般的に使用されるブラウザのほとんどは初期設定でブロックされていますが、有効にできます。

(注3) InPrivate ブラウズでは、閲覧の履歴や Cookie、検索履歴などを残さずにインターネット閲覧が可能なためです。

● アプリ、ゲーム、メディアの制限 (Microsoft ストアのみ)

Windows 10 では、ストア以外のアプリケーションをブロックすることができません。制限できるのはストアのアプリのみです。保護者は、ストアで子供が取得できるコンテンツの年齢区分を設定できます。これは、ストアで子供がブラウズまたは取得できるアプリ、ゲーム、音楽、および動画コンテンツに適用されます。保護者は、ストアアプリやゲームを明示的にブロックすることができますが、子供が利用した後になります。

● 使用時間 (スクリーンタイム)

保護者は、子供が PC を使用できる時間を制限し、PC を使用できる時間間隔と PC あたりの最大時間許容時間を指定できます。時間がなくなると、保護者は延長を承認できます。

● 購入と支出の機能

保護者は、ストアでコンテンツを購入するために使用される子供のアカウントにお金を支出できます。この機能により、保護者は子供のアカウントにクレジットカードを添付することなく、お小遣いを与えることができます。保護者は、ストアでの子供の最近の購入状況を見ることができます。

● 位置情報

保護者は地図上で子供の (Microsoft Launcher がインストールされた Android) スマートフォンを見つけることができます。

ファミリーメンバーアカウントの作成

Microsoft ファミリー機能を利用するには、保護者のみならず子供を含めて Microsoft アカウントの登録が必要です。Microsoft アカウントを持っていない場合は、作成しなければなりません。

まずアカウント ダッシュボードに移動し、保護者のアカウントにサインインします。保護者のアカウントがなければ作成します。次に、<https://account.microsoft.com/family> に移動し、[ファミリーグループを作成]をクリックします。家族の代表者 (保護者) であれば、[メンバーとしてファミリーグループに参加]画面で参加確認を求められます。次に、子供のアカウントを作成します。[ファミリーグループを作成する]画面からサインインし、[家族のメンバーを追加]画面で、[招待メールを送信する]をクリックします。メンバー (子供)

が招待を受け入れると、そのメンバーはファミリーに追加されます。



[ファミリーグループを作成]画面



[メンバーとしてファミリーグループに参加]画面



[家族のメンバーを追加]画面

アカウント ダッシュボード

<https://account.microsoft.com/account/Account>

Microsoft ファミリーグループとは

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/12413>

家族のメンバーを追加

<https://account.microsoft.com/family/addmember>

アクティビティを表示する

保護者は、ファミリーメンバーアカウントのアクティビティの表示画面で、アプリとゲームの使用状況、Web 閲覧状況、Web 検索の内容、デバイスの使用時間をモニターすることができます。<https://account.microsoft.com/family> に移動し、Microsoft アカウントでサインインします。[アクティビティ] を選ぶと、[アクティビティの表示] が表示されます。

「管理」で、活動記録レポートをオンラインで表示するか、レポートを毎週メールで送るかを設定できます。



[アクティビティの表示]画面

Web 閲覧の制限やアプリ、ゲームとメディアの制限を行う

保護者はファミリーメンバーアカウントの画面で、Web 閲覧の制限やアプリ、ゲームとメディアの制限を行うことができます。

- Web 閲覧の制限

<https://account.microsoft.com/family> に移動し、Microsoft アカウントでサインインします。次の手順を実行します。

- [コンテンツの制限] を選びます。
- [Web の閲覧] において、[不適切な Web サイトをブロックする] を [オン] にします。
- 許可した Web サイトのみ閲覧できるようにする場合は、[これらの Web サイトだけを許可する] の横にあるチェック ボックスをオンにします。
- 常に特定のサイトをブロックする場合は、そのサイトの URL を[常にブロック] の

下に追加します。

● アプリ、ゲームとメディアの制限

同様の手順で [アプリ、ゲームとメディア] を選び、コンテンツレーティングに基づく年齢制限を設定することができます。他の一般的に使用されるブラウザのほとんどは初期設定でブロックされていますが、有効に設定できます。ただし、Web 閲覧の制限はできなくなります。



[Web の閲覧設定]画面



[アプリ、ゲームとメディア設定]画面

Windows 10 と Xbox One で不適切な Web サイトをブロックする

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4027332>

Windows 10 と Xbox One で不適切なアプリ、ゲームとメディアをブロックする

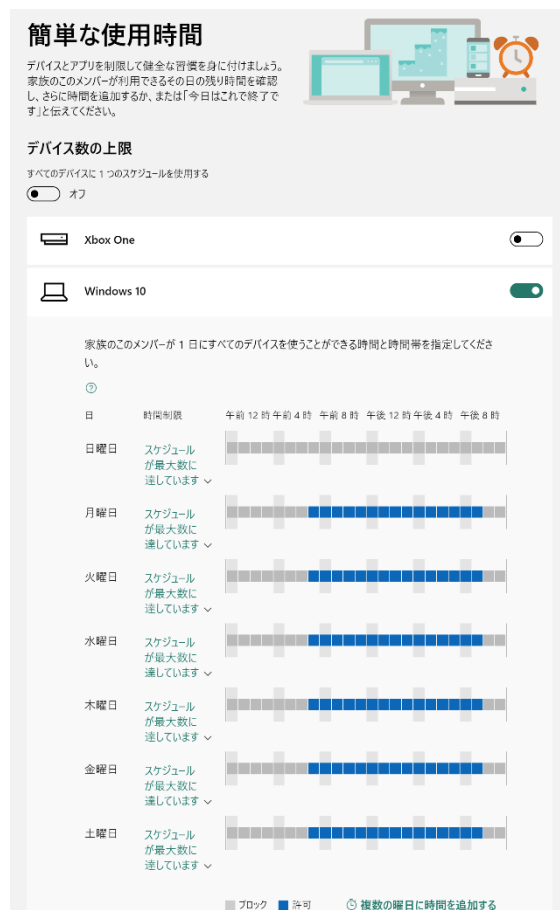
<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4026341>

使用時間の設定

保護者は、ファミリーメンバーアカウントの画面で子供の Windows10 PC や Xbox One の毎日の使用時間の制限を設定することができます。

これらのデバイスの両方に対して同じ使用時間制限スケジュールを設定することもできます。そのためには、<https://account.microsoft.com/family> に移動し、Microsoft アカウントでサインインします。さらに、「使用時間」を選択します。「すべてのデバイスに 1 つのスケジュールを使用する」をオンにします。オフならば、デバイス毎に異なるスケジュールを設定できます。

以下の画面例では Windows10 PC に対してのみ、日曜日はすべてブロックされ、他の曜日では午前 7 時から午後 10 時ちょうどまで許可の設定になっています。



[使用時間設定]画面

お子様による使用時間の制限を設定する

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4028244>

お子様がお使いの全デバイスに対してアプリとゲームの制限を設定する

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4508642>

子供のアカウントへの支出

ファミリーメンバーの Microsoft アカウントに入金し、使いすぎを防ぎながら欲しいものを購入できるようにします。コンテンツのフィルターを設定すると、年齢にふさわしくない商品を家族のメンバーが購入できないように規制することができます。

そのためには、<https://account.microsoft.com/family> に移動し、Microsoft アカウ

トでサインインします。さらに、「支出」を選択します。その画面で、以下を行うことができます。

● 購入時の確認

Microsoft ストアでお子様がアイテムを購入する際に、代表者の承認を得るようにお子様のアカウントを設定することができます。ギフトカードで購入する場合は、[子供がコンテンツを受け取ったら、メールで知らせる] ように設定することができます。

● Microsoft アカウントの残高

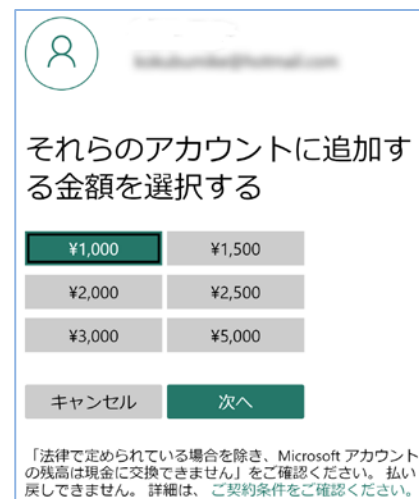
[金額の追加] ボタンをクリックして、ファミリー アカウントにお金を追加します。この残高は、すべての家族が使用できます。家族は自分で購入できるようになります。もちろん、設定されている制限を超える場合は購入できません。

● 購入履歴

家族が購入したアイテムのリストを表示します。



[支出]画面



[追加]画面

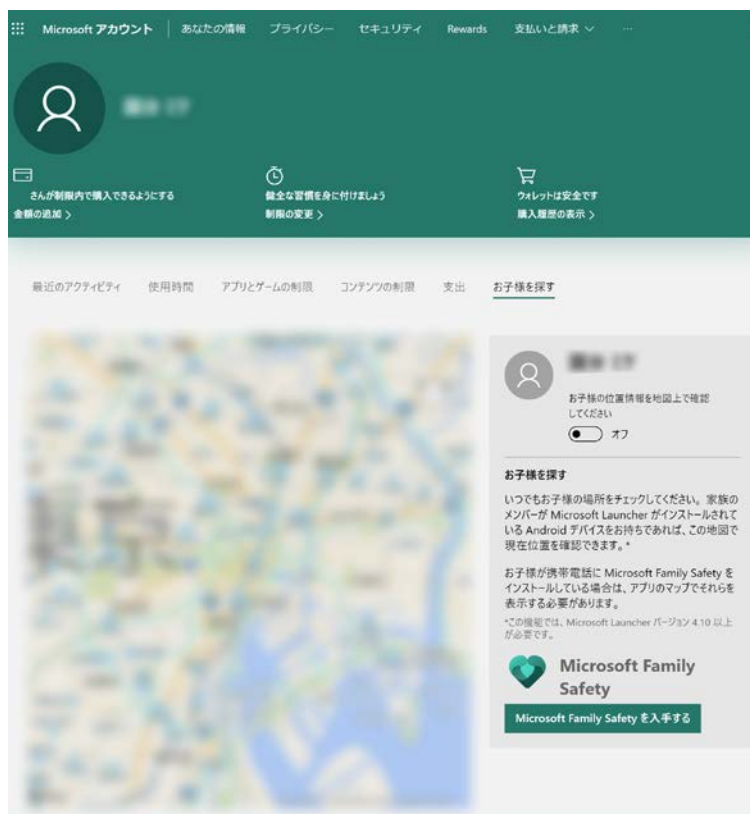
お子様は、Microsoft ストアで商品を購入する前に保護者に許可を求める必要があります

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4047310>

位置情報の設定

地図上で子供が所持するモバイルデバイスの現在位置を表示できます。

<https://account.microsoft.com/family> に移動し、Microsoft アカウントでサインインします。さらに、「お子様を探す」を選択し、「お子様の位置情報を地図上で確認してください」をオンにしてください。Microsoft Launcher がインストールされた Android デバイスでのみ動作します。



[お子様を探す]画面

問い合わせ方法

Microsoft ファミリー機能について問い合わせを行いたい時は、まず下記のヘルプを参照してください。

Microsoft ファミリー機能に関するヘルプ

<https://account.microsoft.com/family/about>

Microsoft サポートに問い合わせ

<https://support.microsoft.com/ja-jp/contactus/>

6

Apple macOS スクリーンタイム

Apple macOS スクリーンタイムの概要

スクリーンタイムは、Apple が提供する macOS 組み込みのファミリー向け無料サービスです。(macOS が搭載された) PC でアプリケーションと Web サイトの時間制限を設定することができます。保護者の場合は、子供についても同じ情報を確認し、制限を適用できます。子供ごとに個人や年齢に合った制限を設定したり、子供が設定を変更できないようにパスコードを設定したりすることもできます。

スクリーンタイムの設定は、同じ Apple ID でサインインしているすべてのデバイスに適用されます。ファミリー共有を使えば、子供のスクリーンタイムをより簡単に設定できます。保護者は、Mac、iPhone、iPad など、どのデバイスからでも子供のすべてのデバイスにスクリーンタイムを設定できます。

Mac のスクリーンタイムとは

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchlfb0b5864/11.0/mac/11.0>

Mac のスクリーンタイムでアプリケーションと Web サイトの時間制限を設定する

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchl630bc02f/mac>

その時の場面集 iPhone 編 (Apple ID を取得したい)

<https://www.iajapan.org/bamen/iPhone/iphone5.html>

スクリーンタイムのレポート

スクリーンタイムのレポートでは、自分のデバイスの日単位または週単位の使用状況を確認したりできます：

- **App 使用状況:**

アプリケーションの使用状況を示すグラフが表示されます。グラフをカスタマイズして、特定の期間、アプリケーション、アプリケーションカテゴリ、Web サイト、デバイスの使用統計を表示することもできます。時間制限に達したアプリケーションの横に「制限」アイコン が表示されます。

- **通知:**

通知の受信回数を示すグラフが表示されます。グラフをカスタマイズして、特定の期間、アプリケーション、Web サイト、デバイスで受信した通知の数を表示することもできます。

- **持ち上げ/再開:**

デバイスを使用するためにスリープ解除した回数と解除後最初に使用したアプリケーションを示すグラフが表示されます。グラフをカスタマイズして、特定の期間、アプリケーション、Web サイト、デバイスで記録された持ち上げ回数を表示することもできます。



[スクリーンタイムのレポート]画面

スクリーンタイムでは、さまざまな制限を設定できます:

- **休止時間:**

画面を見ない時間帯を設定します。休止時間を毎日同じ時間帯に設定することも、曜日ごとに変えることもできます。

- **App 使用時間の制限:**

アプリケーションや Web サイトの使用時間を制限します。アプリケーション、アプリケーションカテゴリ、Web サイトごとに制限を設定できます。制限に達する 5 分前にメッセージが表示されます。時間制限に達すると、そのアプリケーションのアイコンが淡色で表示され、アプリケーションを開くとメッセージが表示されます。

- **通信/通話:**

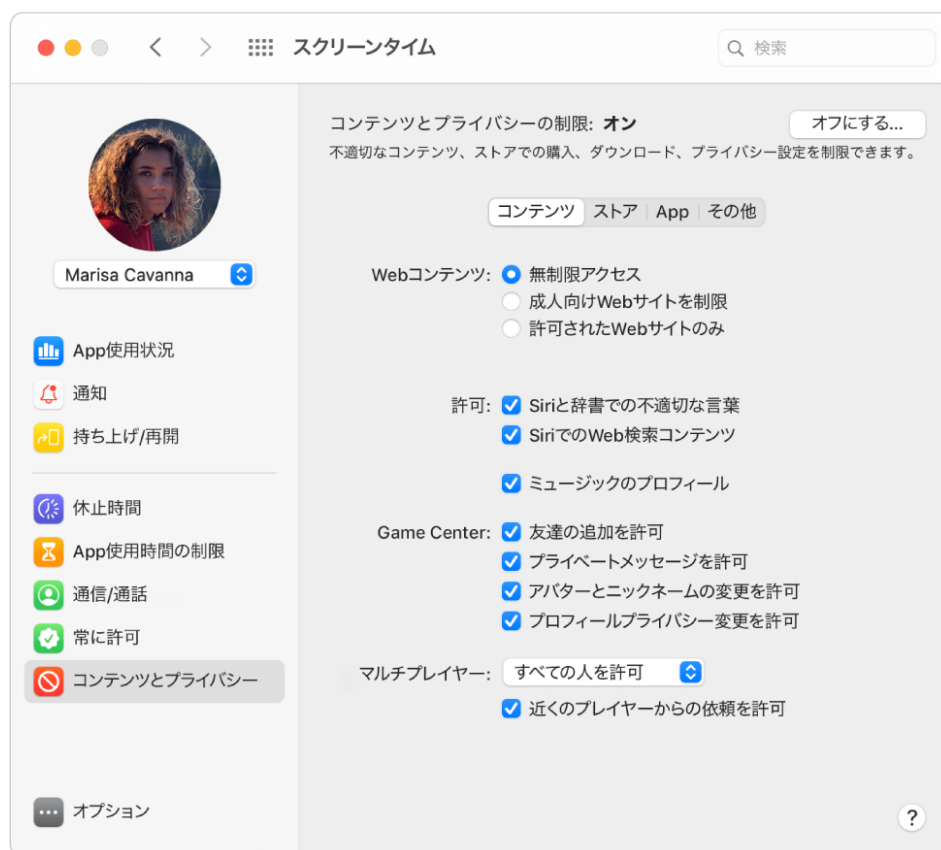
連絡先を管理し、休止時間外と休止時間中に通信/通話できる相手を制限します。

- **常に許可:**

休止時間中を含め、常に使用を許可するアプリケーションを指定します（緊急時に必要なアプリケーションなど）。

- **コンテンツとプライバシー:**

Web コンテンツ、ストアでの購入、アプリケーション、およびダウンロードを制限し、プライバシー設定を選択します。



Web コンテンツとプライバシーの制限を設定

(注) Web コンテンツの「成人向け Web を制限」を設定すると、検索エンジンの Google や Bing のセーフサーチがオンになり検索結果からアダルトコンテンツが除外されますが、有害情報フィルタリングの観点からは十分ではないようです。この制限は、Safari でのみ利用できます。

Mac のスクリーンタイムでコンテンツとプライバシーの制限を設定する

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchl8490d51e/11.0/mac/11.0>

ファミリー共有を設定する

1 人の成人のユーザ（ファミリー管理者）が、ファミリー共有を設定したり、最大 5 人までファミリー共有グループに参加するよう招待したり、家族が共有する機能を選択したりできます。家族は、お互いの音楽、映画、テレビ番組、ブック、共有可能なアプリケーションなどをすぐに使用できるようになります。また、家族の共有アルバムで写真を簡単に共有したり、家族のカレンダーにイベントを追加したり、リマインダーを共有したり、家族のほかのメンバーと位置情報を共有したり、家族のだれかが紛失したデバイスを探したりできます。家族が登録されると、全員のデバイスにファミリー共有が自動的に設定されます。

家族の各メンバーには Apple ID が必要であり、「ファミリー共有」環境設定にアクセスするには自分の「Apple ID」環境設定にサインインする必要があります。子供が Apple ID を作成するには幼すぎる場合、ファミリー管理者は親として同意を行い、子供の代わりに Apple ID を作成してファミリーに追加することができます。ファミリー共有は、1 家族内（大人と子供）で使用するよう設計されています。家族が所属できるファミリー共有グループは一度に 1 つのみです。

ファミリー共有は、Mac PC（OS X 10.10 以降）、iOS デバイス（iOS 8 以降）、iPadOS デバイス、および iCloud for Windows（Windows 7 以降）を搭載した Windows PC で使用できます。



ファミリー共有を設定



iPhone、iPad、iPod touch の場合



Mac の場合

ファミリー共有とは

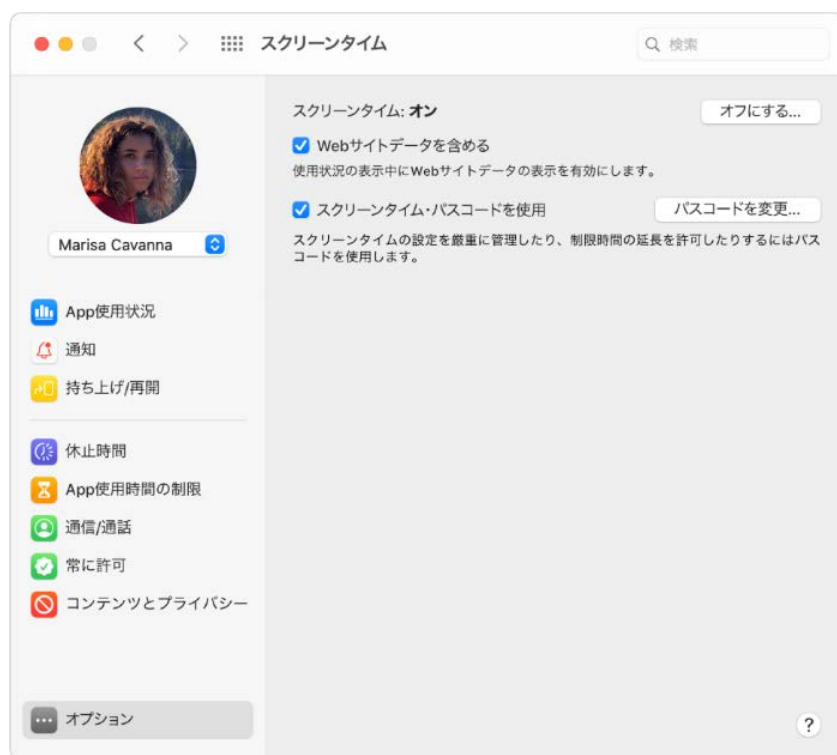
<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchl556f55f3/11.0/mac/11.0>

ファミリー共有を設定する

<https://support.apple.com/ja-jp/HT201088>

Mac で子供のスクリーンタイムを設定する

子供のスクリーンタイムを設定および管理するための最も柔軟で便利な方法は、ファミリー共有を使用することです。ファミリー共有を使用すると、どの Mac、iPhone、または iPad からでも自分のアカウントを使用して、各子供のデバイスの使用状況をリモートで管理および監視できます。ファミリー共有を使用しない場合は、子供の Mac アカウントでログインすることで、子供のスクリーンタイムを設定できます。



Mac で子供のスクリーンタイムを設定する

Mac で子供のスクリーンタイムを設定する

<https://support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mchlc5595037/11.0/mac/11.0>

問い合わせ

私たちがサポートします

<https://getsupport.apple.com/>

◆更新履歴

更新日	該当ページ	更新内容
2014 年 3 月 31 日	-	初版
2014 年 7 月 24 日	P9	〔3.InterSafe Personal〕の〔InterSafe Personal の主な機能〕に『なお、Windows8 のバージョン以外では、URL が https のサイト（ツイッターやフェイスブックなど）をフィルタリングでアクセス不可にすることはできません。』を追加
	P20～23	新たなフィルタリングサービスとして〔6.ファミリーセーフティ〕を追加
2020 年 7 月 31 日	全ページ	リンクの https 化、Windows が Windows 10 になったことによる記述の更新
	P20～P23	Windows 10 の登場により〔ファミリーセーフティ〕から〔ファミリー機能〕へと世代交代したことに伴う全面更新
2021 年 7 月 1 日	-	Apple macOS スクリーンタイムを追加
	-	InterSafe Personal の販売終了に伴い関係情報を削除

- ・本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。
- ・本書を用いた内容の実施は、必ず使用者ご自身の責任と判断にて行ってください。
- ・本書内容の実施結果について、一般財団法人インターネット協会はいかなる責任も負いません。
- ・本書記載の情報は、特段の記載のない限り、2021 年 7 月公開時点の情報となっていますので、ご使用時には変更されている場合もあります。

2021 年 7 月（初版：2014 年 3 月）

一般財団法人インターネット協会 <http://www.iajapan.org/>

Copyright © Internet Association Japan. All rights reserved.